

## グローバル問題教育： コミュニケーションと文法と共に

佐藤 凉子 / 長谷川由美

---

---

本発表においては次の3項目を念頭に、学生たちのアウトプット（発話）能力を育むべく、文法を基調とした、グローバル問題に関するアクティビティを紹介した。

### 1 世界観を養うためのグローバル問題教育

グローバル問題教育を通して学生が外の世界に目を向け、異文化について理解を深め、世界市民として将来に備える必要があると Peaty (1996) は述べている。今回の発表では戦争を主題にし、学生の平和教育に対する意識を高めることをねらいとした。

### 2 アウトプットを促すことを目的としたアクティビティ

英語は国際語であり、自分自身の視野を広げる手段でもある。英語を使って、多くの人とのコミュニケーションが可能になる。また、大抵の学生はスピーキング能力を高めたいと思っている。その要求を組み込んだアクティビティにより、アウトプットを引き出し、意見を述べさせることを目的とした。

### 3 テーマに組み込まれた文法事項

Celce-Murcia (1992)によると、限られた時間での外国語学習において文法は重要な役目を果たし、文法なしでは高い到達度は望めないと主張している。しかし、文法のみを教えるのではなく、ある状況の中で学習させ、興味を持続させる必要がある。今回は文法項目をクラスメートとコミュニケーションを図りながら学ぶという設定にしてある。

### 4 まとめ

グローバル問題、コミュニケーション、文法のいずれも英語学習において果たす役割は大きい。この3つの統合が良い相乗作用を生みだし、大学教育においても効果的な言語習得を促すことが期待される。

(さとう りょうこ)

本学全カリ運営センター非常勤講師、  
はせがわ ゆみ

本学全カリ運営センター非常勤講師)

## 参考文献

- Celce-Murcia, M. (1992) Teaching issues: formal grammar instruction, an educator comments ..... TESOL Quarterly, 26(2), 406-411
- Peaty, D. (1996) Quote taken from the "Introduction" section. The Language Teacher, 20(11), 6-8